

資料 1

コミュニケーション英語 I・II・III 到達目標

2015. 8. 21

	コミュニケーション英語 I	コミュニケーション英語 II	コミュニケーション英語 III
目 標	1. 聞いた英語の概要・要点を理解することができる。 2. 聞き手に話の内容が伝わるように英語ではっきり話すことができる。 3. 読んだ英文の概要・要点を理解することができる。 4. 自分の身の回りの事、読んだ英文について簡単な英文で表現できる。	1. 聞いた英語の概要・要点を理解することができる。 2. 聞き手に話の内容が伝わるように英語ではっきり話すことができる。 3. 読んだ英文の概要・要点を理解することができる。 4. 幅広い話題について情報や考えを英文で表現できる。	1. まとまりのある文章を全体としてとらえ、概要・要点・必要な情報を的確に読みとることができる。 2. 英文を英語のまま理解することができる。 3. 積極的にコミュニケーションを図ることができる。
目標 レベル	Listening の目標 センター入試リスニング問題正答率 60%	センター入試リスニング問題正答率 80%	センター入試リスニング問題正答率 100%
	Reading の目標 1. 語彙レベル = $\frac{1,500 \text{ 語}}{\quad}$ 2. 文章の長さ = $\frac{300 \text{ 語}}{\quad}$ 3. 文を読む早さ = $\frac{90 \text{ w/m}}{\quad}$	1. 語彙レベル = $\frac{2,000 \text{ 語}}{\quad}$ 2. 文章の長さ = $\frac{400 \text{ 語}}{\quad}$ 3. 文を読む早さ = $\frac{110 \text{ w/m}}{\quad}$	1. 語彙レベル = $\frac{3,000 \text{ 語}}{\quad}$ 2. 文章の長さ = $\frac{500 \text{ 語}}{\quad}$ 3. 文を読む早さ = $\frac{130 \text{ w/m}}{\quad}$
サイド リーダー	[語彙レベル] 900～1,500 語 [内容] 物語、説明文、社会問題、自然環境等	[語彙レベル] 1,500～2,000 語 [内容] 物語、説明文、社会問題、自然環境等	センター入試長文問題正答率 80%
評価材料	1. 定期考査 2. 発表活動 (Memorable experience, Folk tale acting, Skit Contest) 3. 授業中の言語活動 (ペアワーク、グループワーク等) 4. 課題	1. 定期考査 2. 授業中の言語活動 (Japan & World, Skit, Role model speech) 3. 課題	1. 共通問題の定期考査 2. 授業中の言語活動 3. 課題
考 査	1. 以下の項目別に出題する ・聞いた英語の概要・要点をつかむ問題 ・読んだ英文の概要・要点をつかむ問題 ・文法・語法・語彙に関する問題 ・発音・アクセントに関する問題 ・教科書の題材に関連した自分の意見等を表現する問題 2. 原則として、「訳せ」「説明せよ」といった日本語で答える問題は出題しない。 3. 教科書に関連した未読の英文も出題する。(ただし文法、語彙レベルは教科書と同程度とし、授業で取り扱わなかったものとする。)	1. 以下の項目別に出題する ・聞いた英語の概要・要点をつかむ問題 ・読んだ英文の概要・要点をつかむ問題 ・文法・語法・語彙に関する問題 ・発音・アクセントに関する問題 ・教科書の題材に関連した自分の意見等を表現する問題 2. 原則として、「訳せ」「説明せよ」といった日本語で答える問題は出題しない。 3. 教科書に関連した未読の英文も出題する。(ただし文法、語彙レベルは教科書と同程度とし、授業で取り扱わなかったものとする。)	1. 実際の入試問題に近い出題形式にする。 ・選択問題を多くする。(センター入試等) ・観点別出題とする。 2. 原則として、「訳せ」「説明せよ」といった日本語で答える問題は出題しない。 3. 未読の英文を出題する。その設問においては、日本語で答える問題があっても良い。 4. 設問は基本的に英語とするが、指示が難解な場合は日本語を併記する。
指導法	1. 中学校で学習した内容から、高校学習へスムーズに移行できるように配慮する。 2. 辞書指導を行う。 3. 語彙、文法事項の定着をはかる。 4. 教科書で扱うテーマについて興味関心を持ち、主体的に問題を捉えることができるようにする。 5. 教科書、関連資料を読み、概要を理解させる。 6. 積極的にコミュニケーションを図るための指導をする。 ・発表活動の中で、積極的に発表する姿勢と、温かい心で聞く態度を育てる。 ・グループワークやペアワークで意見や感想を共有し、ともに学ぶ喜びを味わう。	1. 文章を全体としてとらえる指導をする。 2. 語彙、文法事項の定着をはかる。 3. 英文を英語のまま理解するための指導をする。 4. 積極的にコミュニケーションを図るための指導をする。	1. 文章を全体としてとらえるための指導 ・一語一語、一文一文というように細かく部分的にとらえたり、語彙や文法事項にこだわりすぎないように注意する。 2. 英文を英語のまま理解するための指導 ・和訳を最小限に抑さえ、教師自身もできる限り英語で授業を進める。 ・多読・速読のチャンスを与え、教科書の内容に関連した教材も扱う。 3. 積極的にコミュニケーションを図るための指導 ・情報や書き手の意向などを理解するよう指導するとともに、自らの考えや意見を発信する機会を与える。

資料2

English Communication I Lesson 1 A Story about Names Section 1

☺ Before Class ☺ 予習でやっておくべきこと

Vocabulary Check if you have picked the following words.

- 1. given □2. Western □3. West □4. focus
□5. individual(s) □6. East □7. differ

T/F Questions If the statement is true, put the letter T, if it is false, put F.

1. Everyone should say his or her given name first in English. ()
2. In Japan, the family name comes before the given name. ()

Questions Answer the questions in English.

1. Which comes first in many Western countries, the family name or the given name?
2. What do people in the West focus on?
3. Which name comes first in some countries in the East? And why?
4. What differs from culture to culture?

☺ After Class ☺ 復習でやっておくべきこと

(1) Summary : Fill in the blanks of the Japanese summary.

- ()では、名が姓より先に来ます。
西洋の人々は()。
東洋の人々は()。
姓名の順は()。

(2) Words and Phrases: Fill in the blanks so that the English and Japanese sentences have similar meaning.

1. 私は西洋の国々に旅行がしたい。
I want to travel to () countries.
2. 彼らは「家族」に焦点を当てる。
They () () “family.”
3. 考え方は人により異なる。
Ways of thinking () () person () person.
4. 私はレモンやグレープフルーツのような果物が好きだ。
I like fruits () () lemons and grapefruits.

(3) Grammar Exercise: INSPIRE Key 1 ~ 6

文 1~5 の主語(S)動詞(V)目的語(O)を、下線を引いて指摘しなさい。また文 6,7 を英訳しなさい。

1. He speaks Japanese very well. (Key 1)
2. I received an e-mail from Jane.(Key 3)
3. He uses it every day. (Key 5)
4. Mr. Suzuki teaches English.
5. My sister goes to an elementary school.
6. 私の姉はバイオリンを上手に弾きます。(Key 2)
7. 花子は飛び跳ねた。(Key 4)

INSPIRE p.26 Key 5 が試験の範囲なんだけれど、その全部がこのハンドアウトに載っているわけではないから、家庭学習では実際に INSPIRE を開いて復習する必要があるんだね！



English Communication I Lesson 1 A Story about Names Section 1 解答例

◎ Before Class ◎ 予習でやっておくべきこと

Vocabulary Check if you have picked the following words.

- 1. given □2. Western □3. West □4. focus
□5. individual(s) □6. East □7. differ

Dictation Corner

- A West wind comes from the West.
- Adachi is his family name.

T/F Questions If the statement is true, put the letter T, if it is false, put F.

1. Everyone should say his or her given name first in English. (F)
2. In Japan, the family name comes before the given name. (T)

Questions Answer the questions in English.

1. Which comes first in many Western countries, the family name or the given name?
The given name does.
2. What do people in the West focus on?
They focus on "individuals."
3. Which name comes first in some countries in the East? And why?
The family name does. It's because people focus on family there.
4. What differs from culture to culture?
The name order does.

◎ After Class ◎ 復習でやっておくべきこと

(1) Summary : Fill in the blanks of the Japanese summary.

(多くの西洋の国々)では、名が姓より先に来ます。
西洋の人々は(個人に焦点をあてる)。
東洋の人々は(家族に焦点をあてる)。
姓名の順は(文化によって異なる)。

(2) Words and Phrases: Fill in the blanks so that the English and Japanese sentences have similar meaning.

1. 私は西洋の国々に旅行がしたい。
I want to travel to (Western) countries.
2. 彼らは「家族」に焦点を当てる。
They (focus) (on) "family."
3. 考え方は人により異なる。
Ways of thinking (differ) (from) person (to) person.
4. 私はレモンやグレープフルーツのような果物が好きだ。
I like fruits (such) (as) lemons and grapefruits.

(3) Grammar Exercise: INSPIRE Key 1 ~ 6

文 1~5 の主語(S)動詞(V)目的語(O)を、下線を引いて指摘しなさい。また文 6,7 を英訳しなさい。

1. He speaks Japanese very well. (Key 1)
S V O
2. I received an e-mail from Jane.(Key 3)
S V O
3. He uses it every day. (Key 5)
S V O
4. Mr. Suzuki teaches English.
S V O
5. My sister goes to an elementary school.
S V
6. 私の姉はバイオリンを上手に弾きます。(Key 2)
My sister plays the violin well.
7. 花子は飛び跳ねた。(Key 4)
Hanako jumped.

INSPIRE p.26 Key 5 が試験の範囲なんだけれど、その全部がこのハンドアウトに載っているわけではないから、家庭学習では実際に INSPIRE を開いて復習する必要があるんだね!



補足

Before Class

こちら側半分が、生徒が予習として家で取り組んでくる問題になります。

Vocabulary

- 新出単語です。

T/F Questions

- 本文を一読し、概略をつかむような設問です。

Questions

- 本文を精読してから答える設問です。

After Class

(1) Summary

- 特にテキストに英文サマリーがあるセクションでは、日本語での要約を課します。
 - 空欄は、単語を虫食いにする、というよりも、自然な日本語を構築する力を図るために、やや長めにします。
 - ノートにこの日本語サマリーをもとに英訳したものが英語サマリーとなる「英語サマリ－の書き方練習」になります。

(2) Words and Phrases

- 重要語句が実際の英文の中でどのように使われるかを問う、語彙の問題です。
 - “focus on”の”on”のように、重要なコロケーション等も出題します。

(3) Grammar Exercise

- コバトンの吹き出しの中にあるように、INSPIRE 参考書の Key 単位で試験範囲を設定し、その範囲から文法の演習問題を作成します。
 - 前半にはドリル的な難易度の低いものを、後半には INSPIRE にあるようなやや難しいものを出題します。
 - 教科書の文法事項と INSPIRE の Key がうまく対応していない場合があります。そこで、教科書の文法事項の定着を図るため、その文法事項を用いた問題を追加で作成し、演習を充実させたいと思います。
 - ◇ 例: 仮定法の as if を INSPIRE で含めようとする、仮定法過去完了が含まれてしまう)
- **共通理解としたいこと**
 - ハンドアウト、Key の例文を試験範囲として指定しますが、その文と一語も変わらない **全く同じ文のみが出題されるという意味ではなく**、明らかな既出語を用いての改変はしても OK です。

Lesson 1
Section 1
New Words

Western

West

East

individual

differ

given name

family name

such as ~

put focus on ~
focus on ~

from culture to culture

Check the meanings!

Western

Western
西洋の

West

West
西

East

East
東

individual

individual
個人

differ

differ
異なる

given name
名前

family name
姓

such as ~
~のように

put focus on ~
focus on ~
~に焦点をあてる

from culture to culture
文化によって

Try to memorize the words!

Western
西洋の

West
西

East
東

individual
個人

differ
異なる

given name
名前

family name
姓

such as ~
~のように

put focus on ~
focus on ~
~に焦点をあてる

from culture to culture
文化によって

Pronounce the words!

Western
西洋の

West
西

East
東

individual
個人

differ
異なる

given name
名前

family name
姓

such as ~
~のように

put focus on ~
focus on ~
~に焦点をあてる

from culture to culture
文化によって

Japanese to English!

西洋の

Western
西洋の

西

West
西

東

East
東

個人

individual
個人

異なる

differ
異なる

名前

given name
名前

姓

family name
姓

~のように

such as ~
~のように

-
-

~に焦点をあてる

put focus on ~
focus on ~
~に焦点をあてる

文化によって

from culture to culture
文化によって

Lesson 1
Section 1

Everyone has a name. How do you say your name in English? Do you say your given name first, like "Ayaka Sato"? Or do you say your family name first, **such as** "Sato Ayaka"?

名前の言い方は何種類ある？
どんな言い方がある？
☆such as ~ :

In many Western countries, the given name comes before the family name. In the West, people **put focus on** "individuals".

西洋の国々ではどのように名前を言う？
それはなんで？
☆put focus on ~ = focus on ~ :

In the East, some countries like China, Korea and Japan, put the family name before the given name. There, people **focus on** "family". So the name order differs **from culture to culture**.

中国、韓国、日本のような東洋ではどのように名前を言う？それは何で？
姓名の順序は何によって異なる？

☆focus on ~ = () () () ~
☆from culture to culture :

Everyone has a name. **How do you say** your name in English? Do you say your **given name** first, like "Ayaka Sato"? Or do you say your **family name** first, **such as** "Sato Ayaka"?

Everyone has a name. **どのように言いますか** your name in English? Do you say your **名** first, like "Ayaka Sato"? Or do you say your **姓** first, **~のように** "Sato Ayaka"?

In many Western countries, **the given name comes before the family name**. In the West, people **put focus on** "individuals".

In many Western countries, **名が姓の前に来ます**. In the West, people **「個人」に焦点をあてています**.

In the East, some countries like China, Korea and Japan, **put the family name before the given name**. There, people **focus on** "family".

In the East, some countries like China, Korea and Japan, 姓を名の前に置きます. There, people 「家族」に焦点をあてています.

So the name order differs from culture to culture.

So 姓名の順序は文化によって異なります.

Reproduction

Two ways to say your name.

In the East . . . individuals

In the West . . . family

the name order . . .

Grammar①

[S(主語)+V(動詞)] = 「Sは～する」

The given name comes before the family

S V
name .

We live in Japan.

S V

☆S+V+修飾語句(時・場所)

☆前置詞がきたら修飾語句だと思おう!

Grammar②

[S(主語)+V(動詞)+O(目的語)]

人・物

Everyone has a name.

S V O

I saw a doctor.

S V O

☆Oには名詞を使う!

Grammar①&② SVOをつけてみよう!

1. He runs fast.

2. She wrote some letters.

3. I like basketball.

4. I go to school every day.

Grammar①&② SVOをつけてみよう!

1. He runs fast.

S V

2. She wrote some letters.

S V O

3. I like basketball.

S V O

4. I go to school every day.

S V